

14時30分解禁

平成30年12月 全国百貨店売上高概況

平成31年1月23日

I. 概 況

1. 売上高総額	6,805億円余
2. 前年同月比	-0.7% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	79社 219店 (平成30年11月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,490,568㎡ (前年同月比:-3.2%)
5. 総従業員数	67,902人 (前年同月比:-4.3%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	5-7月 -1.9%、6-8月 -1.3%、7-9月 -3.4%、 8-10月 -0.4%、9-11月 -0.6%、10-12月 0.0%

[参考] 平成29年12月の売上高増減率は-0.6% (店舗数調整後)

【特 徴】

12月の売上高は0.7%減(2か月連続マイナス)と僅かに前年割れとなった。月の前半は気温が高くコート等主力の防寒アイテムが苦戦。月後半からの気温低下で漸く冬物商材が動いたが前年実績には届かなかった。一方、高額品やインバウンドは引き続き好調に推移した。

顧客別では、国内市場(シェア95.6%/1.1%減)はマイナスしたが、インバウンドは302億円(シェア4.4%/8.4%増/25か月連続プラス)と過去2番目の売上を記録した。

地区別では、10都市が0.0%と前年並み。6都市(札幌、横浜、名古屋、京都、大阪、福岡)で前年をクリアした。地方(10都市以外の地区)では2.4%減とマイナスが続くが、近畿地区で前年を上回り、大都市との差は前月より更に0.1ポイント縮小した。

商品別では、雑貨(2.1%増/25か月連続)と身のまわり品(2.2%増/3か月連続)がともにプラス。引き続き好調な化粧品や高額商材(美術・宝飾・貴金属)、ラグジュアリーブランドなどが動いた。衣料品(1.6%減/6か月連続)は天候与件が大きく響きマイナスしたが、前月より2.9ポイント改善。食料品(1.3%減/2か月連続)は前年には届かなかったが、菓子(0.2%増)は3か月連続プラス。

平成30年の年間売上高は、既存店ベース(店舗数調整後)で0.8%減(5兆8,870億円)と2年ぶりにマイナスに転じたが、インバウンドは年間で購買客数28.6%増の約524万人、売上は25.8%増(2年連続増)の3,396億円と、共に過去最高を記録した。

なお、当協会では、1月25日に加盟150店舗で『プレミアム ウィンター バザール』を実施予定。冬物クリアランスセール第二弾をコア企画に様々なイベントを展開する。

【要 因】

(1) 天 候 : 気象庁発表「12月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇暖かい空気に覆われる日が多く、東・西日本は気温が高かったが、気圧の谷の影響を受けやすく、北日本日本海側と東日本太平洋側、西日本は日照時間がかなり少なかった。月末は、北・東日本日本海側を中心に暴風雪や大雪となった。

(2) 営業日数増減 31.0日(前年同月比 ±0.0日)

(3) 土・日・祝日の合計 11日(" +1日/土曜1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数124店舗)

①増加した:35店、②変化なし:39店、③減少した:50店

(5) 12月歳時記(年末商戦(クリスマス・年末年始商材)、歳暮)の売上(同上/有効回答数88店舗)

①増加した:11店、②変化なし:46店、③減少した:31店

全国百貨店 売上高速報 2018年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	680,512,662	100.0	-0.7 (-1.8)
10都市	482,030,488	70.8	0.0 (-0.4)
札幌	18,640,473	2.7	0.2
仙台	9,105,279	1.3	-0.3
東京	181,392,960	26.7	-1.1
横浜	41,859,949	6.2	0.0
名古屋	43,314,089	6.4	1.5 (-2.4)
京都	28,575,697	4.2	1.1
大阪	101,306,542	14.9	2.2
神戸	18,083,740	2.7	-4.2
広島	14,636,679	2.2	-3.3
福岡	25,115,080	3.7	0.2
10都市以外の地区	198,482,174	29.2	-2.4 (-5.3)
北海道	2,080,380	0.3	-0.3
東北	8,896,861	1.3	-2.5 (-6.8)
関東	85,799,774	12.6	-2.8 (-8.2)
中部	16,220,271	2.4	-2.3 (-2.7)
近畿	26,230,650	3.9	0.6 (-1.3)
中国	14,760,485	2.2	-1.8
四国	11,087,595	1.6	-2.9
九州	33,406,158	4.9	-4.0

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	680,512,662	100.0	-0.7 (-1.8)
紳士服・洋品	44,328,342	6.5	-1.7 (-2.6)
婦人服・洋品	109,169,137	16.0	-1.1 (-2.3)
子供服・洋品	11,263,773	1.7	-3.2 (-4.1)
その他衣料品	11,257,989	1.7	-4.9 (-6.5)
衣 料 品	176,019,241	25.9	-1.6 (-2.8)
身のまわり品	88,698,428	13.0	2.2 (1.2)
化粧品	54,763,330	8.0	4.1 (3.2)
美術・宝飾・貴金属	41,971,691	6.2	0.7 (-0.1)
その他雑貨	24,742,167	3.6	0.3 (-1.5)
雑 貨	121,477,188	17.9	2.1 (1.1)
家 具	5,877,409	0.9	-2.4 (-3.7)
家 電	994,000	0.1	-19.8 (-20.0)
その他家庭用品	17,674,235	2.6	-7.0 (-7.8)
家 庭 用 品	24,545,644	3.6	-6.5 (-7.4)
生 鮮 食 品	47,276,954	6.9	-3.7 (-4.9)
菓 子	66,856,040	9.8	0.2 (-0.9)
惣 菜	53,192,607	7.8	-0.6 (-1.3)
その他食料品	71,153,299	10.5	-1.7 (-3.1)
食 料 品	238,478,900	35.0	-1.3 (-2.5)
食 堂 喫 茶	14,171,457	2.1	-2.5 (-3.9)
サ ー ビ ス	5,351,074	0.8	-0.5 (-2.5)
そ の 他	11,770,730	1.7	-8.2 (-10.7)
商 品 券	22,979,715	3.4	-8.1 (-9.0)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -0.0% (店舗数調整後/3か月ぶりマイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -2.4% (店舗数調整後/20か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-0.0	-0.0	3か月ぶりマイナス
札幌	0.2	0.0	2か月連続プラス
仙台	-0.3	-0.0	2か月ぶりマイナス
東京	-1.1	-0.3	5か月ぶりマイナス
横浜	+0.0	0.0	2か月ぶりプラス
名古屋	1.5	0.1	3か月連続プラス
京都	1.1	0.0	2か月ぶりプラス
大阪	2.2	0.3	3か月連続プラス
神戸	-4.2	-0.1	2か月連続マイナス
広島	-3.3	-0.1	2か月連続マイナス
福岡	0.2	0.0	5か月連続プラス
10都市以外の地区	-2.4	-0.7	20か月連続マイナス
北海道	-0.3	-0.0	2か月ぶりマイナス*
東北	-2.5	-0.0	16か月連続マイナス*
関東	-2.8	-0.4	6か月連続マイナス
中部	-2.3	-0.1	6か月連続マイナス
近畿	0.6	0.0	3か月連続プラス
中国	-1.8	-0.0	9か月連続マイナス*
四国	-2.9	-0.0	2か月連続マイナス
九州	-4.0	-0.2	2か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が25か月連続、身のまわり品が3か月連続のプラスとなった。また、食料品が2か月連続、衣料品が6か月連続、家庭用品が36か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が45か月連続、美術・宝飾・貴金属が4か月連続、その他雑貨、菓子が3か月連続のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.7	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-1.7	-0.1	6か月連続マイナス
婦人服・洋品	-1.1	-0.2	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-3.2	-0.1	6か月連続マイナス
その他衣料品	-4.9	-0.1	38か月連続マイナス
衣料品	-1.6	-0.4	6か月連続マイナス
身のまわり品	2.2	0.3	3か月連続プラス
化粧品	4.1	0.3	45か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	0.7	0.0	4か月連続プラス*
その他雑貨	0.3	0.0	3か月連続プラス
雑貨	2.1	0.4	25か月連続プラス
家具	-2.4	-0.0	3か月ぶりマイナス
家電	-19.8	-0.0	4か月連続マイナス
その他家庭用品	-7.0	-0.2	33か月連続マイナス
家庭用品	-6.5	-0.2	36か月連続マイナス
生鮮食品	-3.7	-0.3	2か月連続マイナス*
菓子	0.2	0.0	3か月連続プラス*
惣菜	-0.6	-0.0	2か月連続マイナス*
その他食料品	-1.7	-0.2	2か月連続マイナス*
食料品	-1.3	-0.5	2か月連続マイナス
食堂喫茶	-2.5	-0.1	20か月連続マイナス
サービス	-0.5	-0.0	13か月連続マイナス
その他	-8.2	-0.2	2か月連続マイナス
商品券	-8.1	-0.3	94か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成30年12月 東京地区百貨店売上高概況

平成31年1月23日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,813億円余
2. 前年同月比	－1.1%（5か月ぶりマイナス）
3. 店頭・非店頭の増減	店頭－0.5%（91.1%）：非店頭－6.7%（8.9%） （ ）内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店（平成30年11月対比±0店）
5. 総店舗面積	839,094㎡（前年同月比：－0.7%）
6. 総従業員数	17,607人（前年同月比：－2.4%）
7. 3か月移動平均値	5-7月 1.0%、6-8月 1.1%、7-9月 －1.2%、 8-10月 1.5%、9-11月 1.0%、10-12月 0.3%

〔参考〕平成29年12月の売上高増減率は0.9%

【特 徴】

- (1) 各社が企画した人気催事・イベントや会員カード施策、一部店舗における改装効果もあり、入店客数は2.3%増と14か月連続でプラスした。一方売上は、月前半の高めの気温で冬物の動きが鈍かったことが響き、5か月ぶりのマイナスとなった(1.1%減)。中旬以降、気温の低下に伴い防寒アイテム等が動いた他、クリスマス・年末年始商材の需要もあって回復を見せたが、前半の不調をカバーするまでには至らなかった。
- (2) 商品別では、身のまわり品がラグジュアリーブランドのバッグや革小物、ブーツが堅調で3か月連続プラス。雑貨は25か月連続プラスで、クリスマスコフレや限定コスメの他、高級腕時計、アウトドア・スポーツ用品も動いた。食料品は5か月連続プラス。物産展など食品催事が好評だった他、おせちやクリスマスケーキも堅調。ネット受注が伸長しており二桁伸びの店舗も見られる。
- (3) 衣料品は前年には届かなかったものの、気温の低下した月後半に、コートや防寒アイテムが盛り返し、前月より2.5ポイント改善した。このうち婦人服・洋品は、ラグジュアリーブランドやブラウス、スカートなどが動きプラス転換した。
- (4) 平成30年の年間売上高は0.6%増(1兆6,191億円)と2年連続でプラス。7年連続プラスと好調維持する雑貨に加え、身のまわり品と食料品も3年ぶりに前年クリアした。
- (5) 1月中旬段階の商況は、4.0%減(1/17)で推移している。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 31.0日（前年同月比 ±0.0日）
- (2) 入店客数増減（回答店舗数で見ると傾向値／前年同月比／有効回答数19店舗）
①増加した：7店、②変化なし：7店、③減少した：5店
- (3) 12月歳時記（年末商戦（クリスマス・年末年始商材）、歳暮）の売上（同上／有効回答数13店舗）
①増加した：2店、②変化なし：6店、③減少した：5店

東京地区百貨店 売上高速報 2018年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	181,392,960	100.0	-1.1
紳士服・洋品	14,142,566	7.8	-4.7
婦人服・洋品	26,595,224	14.7	1.3
子供服・洋品	2,493,978	1.4	-0.8
その他衣料品	2,733,464	1.5	-2.7
衣 料 品	45,965,232	25.3	-1.0
身のまわり品	25,466,539	14.0	0.1
化粧品	15,836,373	8.7	1.4
美術・宝飾・貴金属	12,258,488	6.8	-4.2
その他雑貨	8,234,592	4.5	4.9
雑 貨	36,329,453	20.0	0.2
家 具	1,826,342	1.0	-5.3
家 電	581,532	0.3	-34.3
その他家庭用品	4,353,235	2.4	-9.4
家 庭 用 品	6,761,109	3.7	-11.3
生 鮮 食 品	8,369,959	4.6	-3.9
菓 子	16,843,104	9.3	1.5
惣 菜	12,849,120	7.1	0.6
その他食料品	19,232,954	10.6	0.3
食 料 品	57,295,137	31.6	0.1
食 堂 喫 茶	3,204,773	1.8	-6.1
サ ー ビ ス	2,327,687	1.3	2.2
そ の 他	4,043,030	2.2	-13.5

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	4,969,456 千円	-8.8
従 業 員 数	17,607 人	-2.4
店 舗 面 積	839,094 m ²	-0.7

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が25か月連続、食料品が5か月連続、身のまわり品が3か月連続のプラスとなった。また、衣料品が2か月連続、家庭用品が4か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が45か月連続、その他雑貨が13か月連続、その他食料品が5か月連続、菓子が4か月連続、婦人服・洋品、惣菜が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.1	—	5か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-4.7	-0.4	3か月連続マイナス
婦人服・洋品	1.3	0.2	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	-0.8	-0.0	3か月連続マイナス
その他衣料品	-2.7	-0.0	3か月ぶりマイナス
衣料品	-1.0	-0.2	2か月連続マイナス
身のまわり品	0.1	0.0	3か月連続プラス
化粧品	1.4	0.1	45か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-4.2	-0.3	3か月ぶりマイナス*
その他雑貨	4.9	0.2	13か月連続プラス*
雑貨	0.2	0.0	25か月連続プラス
家具	-5.3	-0.1	5か月ぶりマイナス
家電	-34.3	-0.2	4か月連続マイナス
その他家庭用品	-9.4	-0.2	6か月連続マイナス
家庭用品	-11.3	-0.5	4か月連続マイナス
生鮮食品	-3.9	-0.2	3か月連続マイナス*
菓子	1.5	0.1	4か月連続プラス*
惣菜	0.6	0.0	2か月ぶりプラス*
その他食料品	0.3	0.0	5か月連続プラス*
食料品	0.1	0.0	5か月連続プラス
食堂喫茶	-6.1	-0.1	4か月連続マイナス
サービス	2.2	0.0	3か月連続プラス
その他	-13.5	-0.3	3か月連続マイナス
商品券	-8.8	-0.3	3か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

全国百貨店 売上高速報 2018年1月～2018年12月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全 国	5,887,002,591	100.0	-0.8 (-1.1)
10都市	4,151,855,144	70.5	0.3 (0.8)
札幌	158,753,863	2.7	0.5
仙台	77,055,243	1.3	-0.8 (-1.9)
東京	1,619,135,138	27.5	0.6
横浜	357,768,730	6.1	0.3
名古屋	376,356,846	6.4	1.7 (-0.4)
京都	242,137,624	4.1	-0.5
大阪	841,539,909	14.3	3.9
神戸	145,301,231	2.5	-23.5 (-5.1)
広島	121,660,931	2.1	-3.6
福岡	212,145,629	3.6	2.9
10都市以外の地区	1,735,147,447	29.5	-3.4 (-5.4)
北海道	17,253,940	0.3	-4.6
東北	84,067,731	1.4	-5.1 (-8.2)
関東	768,770,027	13.1	-2.0 (-7.2)
中部	135,335,335	2.3	-3.6 (-4.0)
近畿	227,030,694	3.9	-10.0 (-5.8)
中国	129,016,539	2.2	-3.3
四国	94,276,695	1.6	-1.9
九州	279,396,486	4.7	-2.2

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	5,887,002,591	100.0	-0.8 (-1.1)
紳士服・洋品	385,936,434	6.6	-2.8 (-3.3)
婦人服・洋品	1,131,838,956	19.2	-2.8 (-3.3)
子供服・洋品	135,506,048	2.3	-3.9 (-4.0)
その他衣料品	119,286,761	2.0	-6.5 (-7.6)
衣 料 品	1,772,568,199	30.1	-3.1 (-3.7)
身のまわり品	785,950,064	13.4	1.6 (1.3)
化粧品	560,443,540	9.5	9.5 (9.4)
美術・宝飾・貴金属	357,557,434	6.1	3.3 (2.9)
その他雑貨	216,463,843	3.7	-2.7 (-1.8)
雑 貨	1,134,464,817	19.3	5.0 (5.0)
家 具	61,430,067	1.0	-0.8 (-1.7)
家 電	12,510,586	0.2	-13.8 (-13.9)
その他家庭用品	164,611,220	2.8	-6.8 (-7.3)
家 庭 用 品	238,551,873	4.1	-5.7 (-6.3)
生 鮮 食 品	310,865,069	5.3	-3.4 (-3.6)
菓 子	455,936,240	7.7	-1.7 (-1.7)
惣 菜	359,631,082	6.1	-1.5 (-1.3)
その他食料品	496,489,657	8.4	-1.2 (-1.7)
食 料 品	1,622,922,048	27.6	-1.9 (-2.0)
食 堂 喫 茶	152,611,723	2.6	-3.3 (-3.8)
サ ー ビ ス	59,358,397	1.0	-2.9 (-3.7)
そ の 他	120,575,470	2.0	-4.2 (-4.9)
商 品 券	143,529,232	2.4	-5.9 (-7.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

東京地区百貨店 売上高速報 2018年1月～2018年12月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	1,619,135,138	100.0	0.6
紳士服・洋品	130,943,851	8.1	-1.8
婦人服・洋品	278,708,105	17.2	-0.1
子供服・洋品	32,872,910	2.0	0.8
その他衣料品	27,898,841	1.7	-3.8
衣 料 品	470,423,707	29.1	-0.7
身のまわり品	233,774,433	14.4	2.3
化粧品	170,976,892	10.6	8.7
美術・宝飾・貴金属	109,156,832	6.7	2.0
その他雑貨	71,417,108	4.4	6.2
雑 貨	351,550,832	21.7	6.0
家 具	17,983,060	1.1	-0.7
家 電	8,373,939	0.5	-17.3
その他家庭用品	43,080,022	2.7	-8.2
家 庭 用 品	69,437,021	4.3	-7.6
生 鮮 食 品	57,898,389	3.6	-2.2
菓 子	113,670,718	7.0	0.5
惣 菜	84,938,035	5.2	-0.4
その他食料品	133,232,271	8.2	1.0
食 料 品	389,739,413	24.1	0.0
食 堂 喫 茶	35,647,024	2.2	-3.5
サ ー ビ ス	25,442,242	1.6	-1.6
そ の 他	43,120,466	2.7	-8.6

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商 品 券	33,937,764 千円	-2.0
従 業 員 数	214,919 人	-2.4
店 舗 面 積	10,100,847 m ²	-1.3

営 業 日 数	30.3 日	前 年	30.2 日
---------	--------	-----	--------

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>